

令和4年度第1回就労プロジェクト会議録

日時	令和4年6月28日(火) 午後2時～午後4時
書記	厚木市障がい者基幹相談支援センター
場所	アミューあつぎ 610
出席者	スペースナナ サンライフ わーくあーつ 鮎の風第2 あすなる第一 井泉憩の家 紅梅園 ハートラインあゆみ デイサービスみどり 銀河本厚木 ASD支援センター みんなのみらい まんまん食堂 つばさ・かがやき作業所 しらゆり Bluebee-Dream つばき作業所 事務局 厚木市障がい福祉課 いっぱ 厚木市障がい者基幹相談支援センター

内容

① 就労プロジェクト趣旨説明

・事務局より

コロナ禍以降2年振りに対面での開催となりますが、この間は企業向けセミナーを中心に活動を行ってきました。従来からあったもので新鮮味を欠いたのか反響は乏しかった為事務局で検討し、厚木市障がい福祉計画でも謳われている「B型の工賃アップ」を目標に活動する事となり、主に「てとて」の話をしたいと考えていたのですが、担当者が欠席の為次回以降に行う事とします。久しぶりの開催という事で、各事業所の自己紹介と工賃アップに向けての現状での取り組みについてご報告をお願いします。

②自己紹介と各事業所の取り組みと課題

・つばき作業所

1日当たり23～4名の方に利用して頂いており工賃の平均は月7～8000円程度になっている。時給100円がベースで作業内容をA～Cのランクに分けて調整している。精神障がいの方は利用日数が安定しないので、平均工賃の面では厳しさを感じている。

・つばさ・かがやき作業所

30年間ホテルのタオルたたみの仕事をもらってきたが、過去には震災、今回のコロナ禍で仕事が大きく減ってしまった。タオル以外の仕事をもらう事が出来、何とか工賃を下げずに済んだが一つの仕事だけでは運営が厳しいと感じている。県内の事業所の40%が平均工賃1万円を下回っている状況と聞いているが、1万円を下回らない様努力を続けている。

- ・しらゆり

利用者を増やす事が課題となっており、コロナ禍以降、送迎を始めたり同法人から環境整備の仕事を受ける事にした。こちらではレクリエーション以外に毎週ダンスサイズを活用して体を動かす活動を取り入れている。工賃は月1万円を目標にしており出席率や作業態度を加味して計算している。

- ・スペースナナ

利用日数が少ない方や短時間利用を選択される方が多いので平均工賃のアップは難しいと考えている。高次脳機能障害の方は易疲労性が課題となる事が多いので、当所としては工賃アップを目標としている訳では無い。

- ・サンライフ

当事業所では「部活動」という名前で遊びや買い物・レクリエーションを活用した支援も行っており利用者同士の関係は良い。スタッフとの関係についてもモラルやマナーを重視した関わりを意識して頂いている。今年からA型も始める方向で調整しておりB型と定員10名ずつで開所する予定にしている。

- ・わーくあーつ

高工賃を目標に各個人に合った働き方を支援しており、工賃アップについてもスタッフと利用者で取り組んでいる。平均工賃は月2.4万円程度。現在5社から委託を受けているが、仕事量が安定しない為、量のムラから工賃が変動してしまう事はある。

- ・あすなる第一

利用者の高齢化が進んでおり、全体の半分以上が60代となっている。80代の利用者も在籍しており、意欲が有っても体がついて来ないという状況の中、工賃は年々低下しているが日中の活動場所としての機能を維持していきたい。加齢に伴って認知機能の低下が目立つ利用者が多く、その対応が課題と感じている。

- ・井泉憩の家

重度の障がいを抱えた利用者が多いので、のんびりと・生活介護に近いイメージでやっている。平均工賃は6000円を下回る程度。利用者の高齢化が進んでおり、ADLも低下傾向にある。工賃は日額をベースにボーナスと言う形で時給をカバーしている。

- ・紅梅園

コロナ禍でホテルからのタオルの依頼が激減したが何とか乗り切った。ガス代の高騰もあり施設運営は厳しい状況が続いていたが平均工賃は月3.5万円程度を維持している。

- ・ハートラインあゆみ

平均工賃は月1万円を割り込んでいる。利用者のほとんどが精神障がいという事もあり利用日数は安定せず、週1～2回しか参加出来ない利用者も多い。平均工賃の算出方法に問題があるとも考えている。

・デイサービスみどり

コロナ禍の影響で工賃は1万円を割り込んでいる。既に20名を超える方が利用しており新規の相談は受けていない。1万円以上の工賃を目標にしているが、利用者同士の雑談が多いので音が苦手な方には厳しいかもしれない。

・銀河

居場所作りという所から始めている状態で登録者は現在4名。送迎と昼食の提供は行っていない。工賃については時給100円プラス精勤手当が500円という形で行っている。

・ASD支援センター

2階を生活介護、1階をB型として運営しており久遠チョコレートと提携して箱作りや包装、調理などの作業を行っている。時期に左右される仕事で、バレンタインの時期は本当に忙しいが閑散期とのムラが激しいと感じている。平均工賃は月5000円程度だが、利用者が増えると仕事を分け合う形になってしまうので工賃は下がってしまうと思われる。

・みんなのみらい

作業はドッグセラピー関連のグッズ作成が中心。現在は利用者が多くないので、工賃は最大でも月6000円程度になっている。

・まんまん食堂

コロナ禍で肉まんや惣菜の出張販売が困難になり、平均工賃は月1.5万円から1万円程度にダウンしている状態。今後は野菜の水耕栽培を始める予定にしており工賃アップを目指したい。時給は一律だが売上に応じボーナスで調整している。

③就労プロジェクトの今年度の活動内容(案)

今年度は年3～4回のプロジェクト会議開催を目標にしていきたい。工賃アップの現実的な難しさについて改めて理解できたので、「てとて(共同受注窓口)」の活用方法を含め、次回以降検討していきたい。

④その他

～デイサービスみどり

本プロジェクト会議への参加について、現場のスタッフが良いのか管理職が良いのか。参加にあたり人員配置上のやりくりが必要な為事前に分かつと嬉しい。交流の場として現場のスタッフが参加しても良いとは考えている。

～事務局

誰の参加でも問題無いので送付する次第の内容に合わせて各事業所内で出席者を決めて頂いて構いません。報告をし、全体で共有する事もトレーニングになると考えています。

以上。